



ヤマパラ新聞

山形県障がい者スポーツ協会だより



いつでも、どこでも、だれとでも

山形県障がい者スポーツ協会 会長 | 松田 英雄

日頃より、県内障がい者スポーツの普及・振興にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当協会では、新型コロナウイルス感染症の感染予防に努めながら、各種事業を実施しておりますが、昨年は、国内最大規模の障がい者スポーツの祭典である全国障害者スポーツ大会が4年ぶりに栃木県で開催され、本県選手団が過去最多の金メダルを獲得し、素晴らしい成績を収めました。

コロナ禍の中、全国各地から集まった選手及び関係者等が目標に向かい徹底した感染対策の下、大会を成功裏で終えることができたことは、ウィズコロナ時代の新たな全国障がい者スポーツ大会の形を示すとともに、停滞していた障がい者スポーツ活動の回復に期待を感じる出来事となりました。

また、第24回夏季デフリンピックにおいても、本県から出場した齋藤京香選手が競泳の100mバタフライで見事金メダルを獲得したほか、パラ競泳世界選手権大会2022に出場した齋藤元希選手が、400m自由形で銅メダルを獲得するなど、本県出身のパラアスリートの素晴らしい活躍により、県内で競技に励む方々に感動と勇気を与えてくれました。

当協会では、現在、パラアスリートへの支援と、障がいのある人もない人も共に参加できるスポーツ教室等を開催し、障がい者スポーツを通じた共生社会の実現に向けて活動しております。

今後、より多くの方々に障がい者スポーツと障がい者に対する理解を深めていただき、「いつでも、どこでも、だれとでも」障がい者スポーツに取り組める環境を目指し、地域に障がい者スポーツが普及・定着するように一層努力してまいりますので、引き続き皆様からのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げあいさついたします。

GO! Para-Sports



ゴールボール

児童がゴールボールを体験し、パラスポーツの奥深さに触れながら共生社会について考えました。



入場行進 全国障害者スポーツ大会
山形県選手団



デフリンピック 齋藤京香 選手

写真提供:山形新聞社

昨年、世界の舞台で活躍した県出身パラアスリートから、大会に出場しての感想をいただきましたので、ご紹介します。



～デフリンピックに出場して～

第24回夏季デフリンピック競泳女子100mバタフライ 金メダル | 齋藤京香

100mバタフライ、決勝前の召集所待機からゴールの瞬間はただただ泳ぎきることに集中していました。当初の目標は、『決勝に残って自己ベストを更新すること』。それがレース後、私の泳いだレーンに『1』が表示され、一瞬頭が真っ白になりましたが、体が勝手にガッツポーズをしていました。

今までに味わったことのない幸せが心の底から溢れてきて、表彰式での国歌が流れる時間は、これまで応援してくださった方々の顔を思い浮かべながら感謝の気持ちで一杯になりました。今回メダル獲得の本命だった200mバタフライは、泳法違反となり失格という悔しい結果に終わってしまいました。現在は同じ間違いを繰り返さないよう、泳ぎ方を一から改善し練習を重ねています。

2025年のデフリンピックが東京で開催されることが決定しました。いつも私のことを支え、応援してくださる方々の近くでパフォーマンスができるということが、とても楽しみで待ち遠しく感じられます。東京デフリンピックではメダルを2つ以上獲得することを目標としています。結果で皆さんに恩返しができるよう、また、障がいのあるなしに関わらず多くの方々に勇気や感動を届けることができるよう日々精進していきたいと思います。

応援してくださる皆さんの温かい声援が私の励みとなり、力となりました。本当にありがとうございました。これからも、私を含めデフアスリートを応援していただけましたら幸いに存じます。

デフリンピックは、4年に一度、聴覚障がい者のための世界規模で行われる総合スポーツ競技大会で、パラリンピックより歴史が古く、障がい者スポーツの最初の国際競技大会です。夏季(1924年～)と冬季(1948年～)それぞれ開催されており、2025年11月15日～26日の12日間、第25回デフリンピックが東京都で(一部競技、静岡県・福島県)開催されます。



～パラ水泳世界選手権に出場して～

パラ水泳世界選手権2022 男子400m自由形S13(視覚) 銅メダル | 齋藤元希

ポルトガルのマデイラで行われた2022世界選手権では、8種目11レースに出場しました。

僕自身初めてのポルトガルで、事前合宿地のポルトではヨーロッパ風の建物に石畳という日本ではなかなか見られない風景と文化に触れることができ、ホテルでは、ポルトガルの料理を楽しみながら大会に向けて最終調整を行うことができました。

しかしながら、マスクをつける習慣のない国でしたので、感染対策の面では、とてもストレスのある遠征でしたが、チームとしての対策もあり、遠征中に感染者が出てしまったものの、感染者数は最小限に抑えられ、重症化する方もいませんでした。

そんな中で迎えたレースでは、リレーと400m自由形で銅メダルを獲得することができ、日本記録を3種目で更新することができました。東京パラリンピックに続き、国際大会での自己ベストは今後の自信につながります。また、今大会では、副キャプテンとしてもチームづくりに加わり、とてもいい経験ができました。

このような経験ができるのも、日頃からサポート、応援してくださる方々のおかげかと思います。これからも頑張っていきますのでよろしくお願いします。



世界パラ水泳選手権大会は、世界パラ水泳連盟が主催する国際大会で、パラ水泳界においては、パラリンピックに次いで重要な大会とされています。

第1回大会が1990年オランダで開催され、オリンピックの中間年に開催されていましたが、2013年から隔年開催となっています。

夢を感動へ。

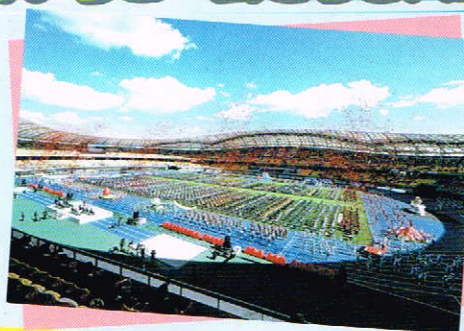
感動を未来へ。

第22回 全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」

2019年～2021年まで中止・延期となっていた全国障害者スポーツ大会が、4年ぶりに開催されました。

山形県選手団は、県大会を勝ち抜いた19人の精鋭が、過去最高の金メダル21個、銀メダル5個、銅メダル3個を獲得しました。

応援していただきました皆様、本大会選手団を派遣するにあたりご尽力をいただきました関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。



晴天に恵まれた開会式



佐藤誠一選手／陸上競技(ソフトボール投)



布施太翼選手／陸上競技(100m)



選手全員が金メダルを獲得した卓球チーム

選手団が山形県知事に成績報告

令和4年11月30日(水)には、小山憲樹選手団長をはじめとする県選手団の代表が県庁を訪問し、吉村美栄子知事に大会の成果を報告しました。

吉村知事からは、「日ごろの練習の成果をしっかりと発揮できた結果ですね」と労いのお言葉をいただきました。



【記録一覧】

競技	氏名	障がい区分	種目	順位	種目	順位
陸上	菅原繁幸	身体	100m	1位	走幅跳	1位
	蜂谷 武	身体	砲丸投	1位	ソフトボール投	1位
	佐藤誠一	身体(視覚)	立幅跳	3位	ソフトボール投	1位
	永井恵子	身体	砲丸投	1位	ソフトボール投	1位
	大類涼太	知的	走高跳	1位	100m	8位
	戸田夏輝	知的	1500m	1位	800m	1位
	遠藤達也	知的	400m	6位	800m	4位
	布施太翼	知的	100m	2位	200m	1位
	柏倉葉月	知的	100m	3位	走幅跳	2位
	加藤米一	身体	25m自由形	1位	50m自由形	1位
水泳	相田佳奈子	身体	25m平泳ぎ	1位	25mバタフライ	1位
アーチェリー	藤井 豊	身体	リカー30mダブルラウンド	4位	-	-
卓球	片見公亮	身体	一般卓球	1位	-	-
	富樫一男	身体(視覚)	STT	1位	-	-
	柳生琉維	知的	一般卓球	1位	-	-
	高野伸康	精神	一般卓球	1位	-	-
フライングディスク	高橋知宏	身体(聴覚)	アキュラシー・スリート・ファイブ	3位	ティスタンスメン・ススタンディング	1位
	大江春男	知的	アキュラシー・スリート・セブン	2位	ティスタンスメン・ススタンディング	2位
	齋藤明美	知的	アキュラシー・スリート・セブン	1位	ティスタンスレディ・ススタンディング	2位

大会の感想 戸田夏輝選手(陸上競技)

全国障害者スポーツ大会には初めての参加でしたが、800mと1500mで金メダルを取ることができました。しかし、タイムは自己ベストに遠く及ばず、満足できるものではありませんでした。

アップの時間が短かったり、招集からの待機時間が長く、コンディションの維持が難しかったなど理由はありますが、鹿児島大会にはこの経験を生かして自己ベストを出せるよう頑張りたいと思います。

いつも自分のことを思い、ご指導いただいているコーチへの感謝の気持ちを忘れずこれからも走り続けます。





スポーツを通して 共生社会の実現へ

山形県障がい者スポーツ協会
常務理事

黒沼 祐蔵

暖かい日差しと穏やかな春風が吹く季節になりましたが、皆さんお変わりなくお過ごしでしょうか。

さて、東京パラリンピックの開幕から今年で2年になりました。日本勢の活躍に沸いた大会は、陸上や水泳、車いすのラグビー・バスケットボールなど、さまざまな障がい者スポーツの魅力を発信しました。懸命に競技に挑んだパラアスリートの姿に感動した人は多かったと思います。

障がい者の運動やスポーツへの意識にも変化をもたらしています。大会閉会后、スポーツ庁が行った調査では、成人の障がい者の運動・スポーツの実施率は、週1回以上が31.0%と2020年度より6ポイント増え、特に若年期(17~19歳)の週1回以上の実施率は、41.8%と前年度より約14ポイント上昇しました。

当スポーツ協会によると、県内でも新たに競技を始める障がい者や、体験会に参加する人は増えてきており、こうした動きをさらに広げていくことが課題でもあります。県や市町村は多くの障がい者がスポーツを継続して楽しめるよう、練習環境の整備や専門的な指導ができる人材、普段の練習や大会運営などを支えるボランティアの育成に取り組んでいくことが急務であります。

赤や青のボールをいかに目標球に近づけるかを競う「ボッチャ」は、複雑なルールもなく、障がいの有無や年齢などに関係なく楽しめる点が魅力のスポーツです。

スポーツを通して障がい者と健常者が一緒に汗を流し、交流することは、お互いに相手を理解することになります。健常者が障がい者スポーツを観戦したり、競技を体験したりすることで、障がい者が抱える困難や不便さに気づくことがあります。最近、各学校で「ボッチャ」や「ゴールボール」(視覚障がい者球技)などの体験教室が開かれています。子どもの頃から障がい者への理解を醸成する重要な取り組みだと思えます。

県内の体育館や公民館には車いす用のスロープやトイレなどが整備されつつありますが、練習や大会の会場として利用できない施設も見受けられます。各市町村では「共生社会」の実現に向け、施設改修を急いでいただきたいと思います。また近くの施設に用具がなく、遠方まで出かけて練習に励む人もいます。用具購入なども進めてほしいと思います。

結びに、2020東京オリンピック・パラリンピックのレガシー(いわゆる未来遺産)として、山形県障がい者スポーツ協会においては、「みんなにスポーツ」「みんなでスポーツ」の考えを普及・推進して参りたいと思います。今後とも皆様のご支援、ご指導、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

障がいのある人もない人も一緒にスポーツを楽しもう!

障がい者スポーツ体験教室

当協会では、今年度から障がい者スポーツ普及推進員が地域に出向き、障がいのあるなしにかかわらず参加できる障がい者スポーツ体験教室を開催しております。

体験教室では、特にボッチャをしてみたいとの声が聞かれます。未経験者も積極的に体験し、楽しんでいきます。



仲間の投球に声援が
飛び交うボッチャ



狙いを定めて
投球するボッチャ



輪の入った合計得点で
競い合う輪投げ



フライングディスクで数字の
的を射抜く、ディスクゲッター

令和4年10月24日に 「2022年度愛の事業団福祉援助・ 助成の贈呈式」が、 山形メディアタワーで行われました

山新放送愛の事業団と山形新聞、山形放送では、行政の目が届きにくい地道な活動を支援し、県民の善意を地域の福祉向上につなげようと、例年、福祉援助・助成を行っております。

今年度は、当協会にボッチャレクリエーションシートと、ボッチャボールセットを各2セット寄贈いただきました。

また、贈呈式では、当協会の松田英雄会長が「障がい者スポーツを通し、当事者だけではなく、障がいのない幅広い年代の方々と関わりを持つ機会もでき、共生社会の実現に向け、広がりを感じている。更なる普及、定着を目指したい」とお礼の言葉を述べました。

このようにご支援いただけることに感謝し、ご期待に沿えるよう今後も活動してまいります。



各団体等代表者に目録が手渡されました



贈呈式に出席した、松田会長と黒沼常務理事

第21回山形県障がい者スポーツ大会の開催

令和4年度の山形県障がい者スポーツ大会の競技大会(陸上・フライングディスク・アーチェリー・卓球・水泳競技)を5月から6月にかけて開催いたしました。

この大会は、令和4年10月29日(土)から31日(月)に栃木県で開催される第22回全国障害者スポーツ大会の選手選考も兼ねて行われ、出場された選手の皆さんは全国大会を目指し、持てる力を十二分に発揮してくれました。



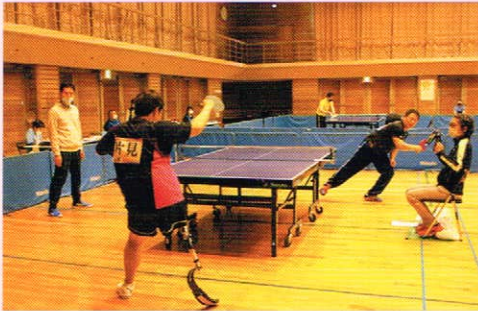
▲ 陸上競技(砲丸投)



▲ フライングディスク競技



▲ アーチェリー競技



▲ 卓球競技



◀ 水泳競技

令和4年度 地区レクリエーションのつどい

コロナ禍で3年連続で中止となっておりました地区レクリエーションの集いを、3年ぶりに開催いたしました。令和4年11月12日(土)の庄内地区(酒田市)を皮切りに、13日(日)は置賜地区(小国町)、20日(日)には最上地区(戸沢村)で開催し、ラダーゲッター・卓球バレー・ポッチャの3種目を楽しんでいただきました。

また、村山地区は、12月15日(木)に県身体障がい者保養施設「東紅苑」(東根市)で開催し、ポッチャ競技を行いました。久しぶりの開催でしたが、参加いただいた皆様の笑顔があふれ、とても充実したレクリエーションの集いとなりました。



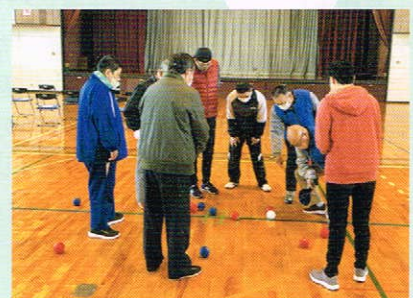
チーム戦により
白熱した卓球バレー

県障害者スポーツ指導者協議会の皆様より、競技運営のご協力をいただきました



ヒモでつながるボールをラダー(ハシゴ)に投げ、ボールをラダーに引っ掛ける、ラダーゲッター競技

ポッチャの得点
確認の様子



～障がい者スポーツボランティア登録者募集～

障がい者スポーツ大会・イベント等でサポートしていただける方を募集しています。興味・関心のある方は、事務局までご連絡ください。

【ボランティア登録者の声】

「障がい者スポーツを体感して」 小松健太

大会にボランティアとして参加させていただき、選手の皆さんが楽しそうにかつ真剣な表情でプレーされている姿に感銘を受け、競技運営等に関わる方々が障がいを理解していることを実感しました。

また、ボランティアに携わったご縁から、現在ゴールボールチームの練習に参加するようになり、パラスポーツが生活の一部になりました。

今後もボランティア活動に参加しつつ、障害者スポーツ指導員の資格取得にも励んでいきたいです。



▲大会でサポートする小松さん
(緑ビブス着用)



パラスポーツの魅力に触れてみませんか？

当協会では、賛助会員の皆様にパラスポーツの用具貸出を行っています。障がいの有無にかかわらず、誰でも気軽に体験できます。詳細は当協会ホームページをご覧ください。



カラーリング



デイスゲッター

～会員募集～

当会では、賛助会員を随時募集しております。県内障がい者スポーツの普及発展のため皆様の温かいご支援をお願いいたします。

【会費1口 2,000円】

・郵便振込(番号:02490-3-11263、
加入者名:山形県障がい者スポーツ協会)
・銀行振込(銀行名:山形銀行鈴川支店、
種別:普通、番号:0627399、
名義:山形県障がい者スポーツ協会
会長 松田英雄(まつだひでお)

**YAMA
PARA!**
YAMAGATA
PARA SPORTS SUPPORTER

事務局だより

コロナが続く中、今年度は、感染症対策を行い県内各地域に出向き、障がい者スポーツの普及イベント等を実施いたしました。

山形トヨタ自動車株式会社様より貸与いただいているブルーのシエンタの走行距離を調べたところ、昨年4月～12月かけて5,300km走行しておりました。たくさん走ったなあという達成感とともに、改めてこのシエンタが当協会にはなくてはならない存在であることを実感しました。

山形トヨタ様、障がい者スポーツへのご支援をありがとうございます。



令和4年度 山形県障がい者スポーツ協会 会員一覧

皆さまからの温かいご支援に、心から感謝申し上げます。(令和5年2月15日現在 敬称略・順不同)

※2月15日以降に申込頂いた方については、当協会のホームページにて随時公開いたします。

正会員

NPOスペシャルオリンピックス日本・山形	チームおからや	山形県チェリースイマーズクラブ	山形県聴覚障害者卓球部
山形県聴覚障害者協会ボウリング部	天童サウンドテーブルテニスクラブ	山形県車椅子ゲートボール倶楽部	上市市身障者ゲートボールクラブ
米沢市身体障がい者福祉協会	山形県りんりん車いすダンスクラブ	山形県身体障害者アーチェリー協会	
グラウンド・ゴルフクラブ石橋花会			
山形県障がい者陸上競技クラブ	山形県身体障害者スキー協会	山形県視覚障害者福祉協会サウンドテーブルテニスクラブ	

準会員

嶋倉秀代	寺田博之	佐藤政江	斎藤洋子	石垣和子	色摩礼子	安部龍一	佐藤よし	島津穂子
高橋としよ	佐藤健治	齋藤美晴	曾川三千春	原田春代	池田智恵子	菅原 修	齋藤智恵子	阿部繁子
伊藤弘得	斎藤榮子	上野義夫	讃岐基市	佐藤光子	佐久間力	板垣順子	佐藤真志美	石川良克
三船修三	大川親孝	佐藤公子	仲條 伸	川村繁美	阿部 武	相蘇はる子	佐藤文子	佐藤スエ子
斎藤 茂	佐藤 隆	早坂広由喜	高橋富子	松山正雄	木村邦雄	菅原孝子	川原ノブ子	板垣文男
島貫はつ子	高梨花子	山村 清	竹屋耕悦	松田正榮	吉田七世子	佐藤保美	大内良美	名和一男
荒井正利	鈴木信宏	榎松興悦	池田 裕	大類準一	井上武郎	井刈武司	五十嵐孝義	増川州宏
井上豊子	海谷宏子	原 孝義	長岡弘志	阿部和信	小林 哲	狩野和男	永山重良	西田 功
板垣征司	鈴木剛志	佐藤満子	佐藤 武	原田久民	上野時子	山本 鉦	斎藤 厚	百瀬健治
鈴木富雄	須藤英樹	佐藤美津子	渡辺愛里	本間 静				

賛助会員【団体】

公益財団法人山形県スポーツ協会	社会福祉法人山形県社会福祉協議会	山形県アーチェリー協会	山形県障害者スポーツ指導者協議会
山形県水泳連盟	山形県障がい者フライングディスク協会	山形県スキー連盟	山形県精神障がい者スポーツ推進協議会
NPO法人らっふる	社会福祉法人輝きの会	障がい者支援施設南陽の里	指定障害者支援施設水明苑
山形県ワークショップ明星園	障がい者支援施設光生園	障害者支援施設白鷹陽光学園	社会福祉法人走翔会
障がい者支援施設月光園	山形福祉工場	山形県コロニーセンター	山形県商工会連合会
山形県卓球協会障がい者委員会	山形県知的障害者福祉協会	山形県知的障害児生活サポート協会	一般社団法人山形県理学療法士会
一般社団法人天童市東村山郡医師会	山形県教育庁特別支援教育課	山形大学附属特別支援学校	山形県立福岡特別支援学校
山形県立村山特別支援学校天童校	山形県立米沢養護学校	山形市立高橋中学校	山形市立桜田小学校
山形市立蔵王第二小学校	山形市立第五中学校	惺山高等学校	学校法人新庄学園新庄東高等学校
あいおいニッセイ同和損保	株式会社川井スポーツ	東北労働金庫	殖産工務所
株式会社三洋	山形警備保障株式会社	株式会社タキザワ	社会福祉法人朝日町社会福祉協議会
株式会社ロードナイン	山形県コロニー協会	天童市手をつなぐ育成会	株式会社Mr.もがな
有限会社ライタス	株式会社Trim.SK	株式会社さくらんぼホケン	ういずグループ
医療法人社団清永会矢吹病院	NPO法人生涯スポーツ振興会	日伸不動産株式会社	

賛助会員【個人】

保科孝宏	東海林靖志	小野三枝子	泉 洋之	安達 均	永澤隆志	小室邦秀	近野広行	高橋利広
高嶋智弘	高橋貴志	長瀬敬男	小山恵樹	小川 潔	高橋公夫	加川幸子	佐藤茂美	加藤里美
片見光亮	布施太翼	蜂谷 武	高橋静雄	齋藤明美	佐藤誠一	菅原繁幸	大江春男	土屋佑介
加藤米一	藤井 豊	富樫一男	高野伸康	鈴木嘉明	石川芳信	根津良伸	柳生 稔	岡崎郁子
堀米弘子	庄司美千代	渡邊朗子	加藤 奨	菅野 功	佐藤和明	齋藤幸司	和田朋子	前野優太
星川真由美	片山愛子	加藤 隼	丹美和子	木内澄江	高橋節子	戸松裕子	佐藤知子	大江千賀子
半田ゆり	柴田奈実	峇澤 聖	海藤絵里	片桐賢一	寒河江寿樹	山口喜代美	高橋 啓	大類友彦
大類涼太	庄司慶子	土屋香織	逸見利香	増川久仁男	戸田和彦	白石哲男	今泉 孝	神保敦司
山寺 武	安達千里	寒河江功一	寒河江敬和	矢吹清隆	古原常能	大場ひわ子	鈴木 聡	寒河江真也
松田英雄	黒沼祐蔵	福田 香	工藤好隆	笹原里美	鈴木和世	塩野かおり	岩松 剛	池田孝之
齋藤聡子	高橋弥生	渡辺和子	鈴木政彦	大野圭一	蜂谷真和	佐藤菜由子	村川卓也	神保佑花
齋藤智子	沼澤しずく	青山咲純	後藤龍一	小林浩一	羽角孝徳	齋藤澄江	渡邊宏二	芦野晋也
佐藤友紀	鈴木 恵	酒井あゆみ	齋藤彰浩	後藤美知子	鎌塚 暁	原田浩一	黒沼美樹	武田文子
清水 薫	木暮 梓	小林一好	深瀬典子	渡邊裕子	鏡 友由	佐藤孝喜	高橋貴志	鈴木貴昭
岡田由希	西田竜也	高橋恵美子	矢田目真美	関 信彦	石山明希	押切美千恵	高橋真由美	武田美貴
矢田目恵理子	湊間久美子	塩野美樹	齋藤正義	小沼良明	田中義秀	佐久間悦子	佐藤雪絵	竹田道子

山形県障がい者スポーツ協会

〒990-2231 山形県山形市大字大森385番地
山形県身体障害者福祉会（山形県リハビリセンター内）

山形県障がい者スポーツ協会

検索



[TEL・FAX] 023-686-4084

[メールアドレス] info@yamagata-adapted.jp

[URL] http://www.yamagata-adapted.jp/